

九月の声を聞くと、そろそろ秋だと感
じます。八月三十一日と九月一日はたっ
た一日しか違わないのに、意識の上で
は、ずい分時間的距離があるような気が
します。夏休みの最後の日である八月三
十一日は、なんとも淋しく、なごりおし
い気がしたものです。楽しかった夏の思
い出の数々がよみがえって、また、あの
時にもどりたいと思うのでした。

一日がやけに早くすぎて、八月中、あ
んなに時間がゆっくりと流れていったの
が、まるでうそのように、あつという間
に夕方になってしまふのでした。

夏休み中に、あれこれたまった旅の思
い出の品々や友人からの絵はがき、写真
など、休み中にほとんど使うことのなか
った勉強机の上にたまったものを、ひと
つひとつ、いつくしみながら、かたづけ
ます。その時、「なぜ、九月一日が来て
しまうのか」と、時間の流れてゆくのを、
うらめしく思ったものです。

夏休みの足跡を、すべて消して、明日
から始まる二学期のために、ノート、鉛
筆などをそろえます。そこまでやると、
もう、夏休みに対する心の執着も序々に
薄れてゆくのですが、それでもふと夏の
あの白っぽい日射しや麦わら帽子のチク
チクとした感じが思い出されて、明日へ
の準備の手も、遅れがちになるのでし
た。

子供の頃の八月三十一日は、ひとつの
大きな区切りの日でした。大人になり、
その区切りがいつしかなくなり、八月も
九月もほとんど差がなくなつたばかりか
暑い八月が終わり、一日も早く涼しい九
月が来ることを心待ちにさえするようにな
りました。

フリーという仕事をしていると、季節
の移り変わりも、また、毎月の流れも、
曜日感覚さえ、うすれてゆくのです。
そんな日常の中で、ふと八月三十一日
に目をやり、昔の感覚を思い出しました。

幼児の教育 第八十六巻 第九号

九月号 ◎

定価 四〇〇円

昭和六十二年八月二十五日 印刷

昭和六十二年九月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売
所 フレーベル館 にお願いたします

※万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。